

2025年4月30日

各位

株式会社北洋銀行

株式会社北海道共創パートナーズ

有限会社キクデンサービス様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行（取締役頭取 津山 博恒）と子会社の株式会社北海道共創パートナーズ（代表取締役社長 岩崎 俊一郎）は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、有限会社キクデンサービス様（北海道北斗市、代表取締役 田口 祐輔様）が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

北洋銀行グループは今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

会 社 名	有限会社キクデンサービス
所 在 地	北斗市富川1丁目4番14号
代 表 者	代表取締役 田口 祐輔
業 種	機械等修理業

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以 上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋 SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

有限会社キクデンサービス サステナビリティ経営方針

私たちはステークホルダーに敬愛される企業であるために、
対応メーカー並びに地域の拡大、技術力の向上に努めます。
みなさまの未来の安心安全・地域環境問題の解決に誠実に向き合い続け、
持続可能な経営を行ってまいります。

経営理念
みんな笑顔でいるために。
事業活動、職場環境を整えて
地域社会や顧客、従業員とその家族に
敬愛される
そんな会社を目指して日々邁進しています

事業に影響を与える環境変化

環境

- 脱炭素に向けた社会変化
- 自然災害の激甚化
- 自然保護への規制強化
- 循環経済の加速

社会

- 人口減少・少子高齢化
- 価値観やライフスタイルの変化
- 世帯構造・社会構造の変化
- 働き方改革の進展
- 地方創生の貢献に対する重要度の高まり

経済 ガバナンス

- サプライチェーンの見直し
- 新型コロナによる産業構造の変化
- 消費者の情報収集経路及び嗜好の多様化
- 情報セキュリティへの対応
- 企業の社会的責任に対する重要性の高まり

重要課題（マテリアリティ）

1 メンテナンス文化の啓発

2 卓越した技術による 高水準なサービスの提供

3 働きやすさを追求する 職場環境づくり

4 環境負荷低減への 取り組み

5 信頼構築に向けた ガバナンス体制の確立

取組内容

- ① 会社PRの拡大
- ② 普及活動の実施

- ① 受注件数の拡大
- ② 整備技術の更なる向上
- ③ 新技術の探索

- ① 新工場移転
- ② 社内インフラ整備
- ③ ハラスメント対策
- ④ 社内教育制度の確立

- ① 環境配慮型経営の実践
- ② 脱炭素推進

- ① 地域貢献
- ② ガバナンス

主なステークホルダー

従業員・取引先・株主
地域社会・行政・環境

従業員・取引先・株主
地域社会・行政・環境

従業員・株主
地域社会・行政

従業員・株主
地域社会・行政・環境

従業員・取引先・株主
地域社会・行政

サステナビリティ経営への取り組み



キクデンサービス

SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当社が将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。

重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

2025年4月 有限会社キクデンサービス

社会・地域

私たちは、地域社会からの期待に応え、外部研修の積極的な参加による知識の向上必須資格取得、修理及び整備のための最適な環境整備、健康相談、メンタルヘルスケア環境の充実化、完全週休2日制の導入等、誰もが安心して働ける環境をするとともに、事業を通じ地域社会への還元を行っています。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・感染症予防・熱中症予防の徹底
- ・屋内完全禁煙
- ・健康相談、メンタルヘルスケア環境の充実化
- ・修理及び整備のための最適な環境整備
- ・外部研修の積極的な参加による知識向上
- ・積極的な地元企業との取引
- ・必須資格取得時の費用補助制度
- ・完全週休2日制の導入
- ・有給休暇の取得推奨
- ・同一労働同一賃金
- ・時間外労働の厳格管理
- ・地域のお祭り等への寄付

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題（マテリアリティ）	取組内容	目標・KPI
働きやすさを追求する 職場環境づくり	①新工場移転	■ 2025年度末までに新工場建設予定地を決定する
	②社内インフラ整備	■ 2028年度末までに業務マニュアルを作成する ■ 2025年度中に夏用制服を新調する
	③ハラスメント対策	■ 2025年度末までにハラスメント対策の明文化を行う
	④社内教育制度の確立	■ 2026年4月から、年1回以上外部研修を受講する（接遇、コンプライアンス等）
信頼構築に向けた ガバナンス体制の確立	①地域貢献	■ 2025年4月から年1回以上、地域貢献活動の参加を継続する
		■ 2028年度末までにインターンシップ制度を導入する

経済・ガバナンス

私たちは、経営の客観性・透明性を高めるため、従業員への経営理念の浸透、現場調査及び診断の短縮、適正価格でのサービス提供を推進し企業価値の向上を目指します。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・現場調査及び診断の短縮
- ・定期的なメンテナンスによる資源の節約
- ・経営理念の浸透
- ・ドライブレコーダーの導入
- ・コンプライアンス研修の実施
- ・適正価格でのサービス提供

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題（マテリアリティ）	取組内容	目標・KPI
メンテナンス文化 の啓発	①会社PRの拡大	■ 2025年度以降、毎年会社PRパンフレット（リーフレット）のリニューアルを行う
	②普及活動の実施	■ 2025年度末までに問い合わせチェックリストを制定し、HPで公開する
卓越した技術による 高水準なサービスの 提供	①受注件数の拡大	■ 2025年4月から毎年、年間の受注件数を昨年度比5%増加させる
	②整備技術の更なる向上	■ 2026年4月から毎年1回以上メーカーが主催する技術講習会に社員1名以上が参加する
	③新技術の探索	■ 2025年度から月に1回、1日をかけて新技術獲得に向けた研究開発日を設定する
信頼構築に向けた ガバナンス体制の確立	②ガバナンス	■ 2025年4月から3ヶ月毎にコンプライアンス勉強会を開催する
		■ 2026年度末までに事業継続計画（BCP）を確定する

環境

私たちは、地球環境問題を経営上の重要な課題の一つとして認識し、環境配慮型洗剤等の利用、脱炭素推進、有害化学物質の適切な処理、FSC認証製品の使用、ペーパーレス化の推進等、事業活動による環境負荷低減への取り組みを実施します。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- ・仕入原価引き下げの取り組み
- ・整備材料使用時の環境配慮への取り組み
- ・納品書・請求書の電子化
- ・有害化学物質の適切な処理
- ・ペーパーレス化の推進
- ・FSC認証製品の使用
- ・自治体ルールに遵守した廃棄物の分別
- ・水銀非使用のLED照明の利用
- ・環境配慮型洗剤等の利用
- ・脱炭素推進

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題（マテリアリティ）	取組内容	目標・KPI
環境負荷低減への 取り組み	①環境配慮型経営の実践	■ 2030年度末までに廃棄物を2025年度比10%削減させる
		■ 2030年度末までに請求書業務のペーパーレス化100%を達成する
	②脱炭素推進	■ 2028年度末までに年間CO2排出量の把握を行う
		■ 2030年度末までに、CO2排出量削減に向けた計画の策定を行う